

宮古島市の健全化判断比率

宮古島市の平成30年度決算に基づく各数値は…

○「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」のいずれの指標も早期健全化基準(イエローカード)を下回る水準、「資金不足比率」の指標は、経営健全化基準を下回る水準となっており、健全であるといえます。

指標	宮古島市		早期健全化 基 準	財 政 再 生 基 準	備 考
	平成30年度	平成29年度			
①実質赤字比率	—	—	12.54%	20.0%	一般会計等の実質収支は約16.3億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
②連結実質赤字比率	—	—	17.54%	30.0%	全会計の実質収支は、約27.6億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
③実質公債費比率	7.1%	7.1%	25.0%	35.0%	比率は前年度と同じ7.1%で、早期健全化基準を下回っています。
④将来負担比率	15.5%	22.4%	350.0%		【6.9%改善】 基金等充当可能財源が増加したため、H29年度比で6.9%改善されています。早期健全化基準は大きく下回っています。
⑤資金不足比率	—	—	経営健全化 基 準 20.0%		公営企業会計毎の資金不足額の事業規模に対する比率です。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。

○早期健全化基準

健全化判断比率の4指標(①～④)のうち、いずれかが早期健全化基準以上となった場合は、当該健全化比率を公表した年度の末日までに「財政健全化計画」を定めることとなっています。

○財政再生基準

「将来負担比率」を除く健全化判断比率の3指標(①～③)のうち、いずれかが財政再生基準以上となった場合は、当該再生判断比率を公表した年度の末日までに「財政再生計画」を定めることとなっています。

宮古島市の実質収支・連結実質収支の状況

約16.3億円の黒字

(単位:千円)

区分	対象会計		実質収支額		
			平成30年度	平成29年度	増減(H30-H29)
連結実質赤字比率の対象	①	一般会計等 (新技術特別会計含む)	1,638,825	2,146,434	△ 507,609
	②	国民健康保険事業 特別会計	122,417	0	122,417
	③	介護保険特別会計	113,963	30,161	83,802
	④	後期高齢者医療 特別会計	0	0	0
	⑤	水道事業会計	803,132	1,001,759	△ 198,627
	⑥	公共下水道事業 特別会計	0	0	0
	⑦	農漁業集落排水事業 特別会計	0	0	0
	⑧	港湾事業特別会計	43,232	2,642	40,590
	⑨	土地区画整理事業特別 会計	45,794	0	45,794
計(①~⑨)			2,767,363	3,180,996	△ 413,633
			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">連結では約27.6億円の黒字</div>		
⑩ 標準財政規模			19,017,894	19,339,998	△ 322,104
実質赤字比率(%) : ①/⑩			-	-	-
連結実質赤字比率(%) : (①~⑨)/⑩			-	-	-

実際の報告様式に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は「-」で表示されていますが、黒字であることを意味しています。